



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日
東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所
 コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 鷲本 晴吾 (TEL) 050-5864-3978
 上席執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年9月期第1四半期 | 2,020 | △8.6 | 53 | — | 9 | — | △63 | — |
| 2020年9月期第1四半期 | 2,209 | 116.6 | △258 | — | △297 | — | △284 | — |

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 0百万円(—%) 2020年9月期第1四半期 △313百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年9月期第1四半期 | △0.31 | — |
| 2020年9月期第1四半期 | △1.42 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年9月期第1四半期 | 16,759 | 7,199 | 36.5 |
| 2020年9月期 | 16,583 | 7,304 | 37.7 |

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 6,112百万円 2020年9月期 6,258百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年9月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,000 | 31.6 | 540 | — | 370 | — | 250 | — | 1.24 |

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2021年9月期第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年9月期1Q | 201,115,600株 | 2020年9月期 | 201,114,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年9月期1Q | 一株 | 2020年9月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年9月期1Q | 201,115,013株 | 2020年9月期1Q | 201,111,709株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、投資銀行事業において、事業承継等のニーズに対応したプライベートエクイティ投資強化の方針のもと、案件の組成を推進しました。メツァについては、コロナ禍による来園者数減少に対応して費用を削減した収支均衡策を継続しましたが、感染拡大防止策をとりイベント等で集客した結果、来園者数は回復基調で推移しました。またライセンス関連は、市場拡大のためのブランディング施策を展開しました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、プライベートエクイティ投資に関するアドバイザー業務や、航空機アセットマネジメントが好調となったものの、メツァの来園者数が前第1四半期比で21.0%減となったことにより、売上高は2,020百万円（前年同期比8.6%減）となり、売上総利益は原価率の低い投資銀行事業の業務受託等の売上高が伸長したことにより825百万円（前年同期比18.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は、前期からメツァをはじめとして全社的に費用削減を推進してきたことにより前年同期比19.1%減の772百万円なった結果、営業利益は53百万円（前年同期は258百万円の損失）、経常利益は9百万円（前年同期は297百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、非支配株主に帰属する四半期純利益52百万円により、63百万円（前年同期は284百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

| | 2020年9月期 第1四半期 連結累計期間 | 2021年9月期 第1四半期 連結累計期間 | 増減額 |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------|
| 売上高 | 2,209 | 2,020 | △189 |
| 投資銀行事業 | 555 | 812 | 257 |
| 公共コンサルティング事業 | 64 | 62 | △1 |
| エンタテインメント・サービス事業 | 1,647 | 1,223 | △423 |
| 消去 | △57 | △78 | △20 |
| 売上総利益 | 696 | 825 | 129 |
| 投資銀行事業 | 316 | 499 | 183 |
| 公共コンサルティング事業 | 33 | 38 | 5 |
| エンタテインメント・サービス事業 | 376 | 327 | △49 |
| 消去 | △29 | △39 | △9 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △258 | 53 | 312 |
| 投資銀行事業 | △71 | 142 | 213 |
| 公共コンサルティング事業 | △7 | △2 | 4 |
| エンタテインメント・サービス事業 | △18 | 47 | 66 |
| 消去又は全社費用 | △161 | △134 | 26 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △297 | 9 | 306 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△） | △294 | 11 | 305 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △284 | △63 | 221 |

セグメント別の業績は以下のとおりです。なお、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、事業承継案件のアドバイザーやファンド組成等の業務受託や、航空機アセットマネジメントにおいてコロナ禍の影響により金融機関や所有者（レッサー）から機体検査や機体返還などの技術サービス提供依頼が、それぞれ増加したことにより、これらの売上高が増加しました。販売費及び一般管理費については、前期に人件費を中心に削減を進めたことにより、当第1四半期においても前年同期比で減少しました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は812百万円（前年同期比46.4%増）、セグメント利益は142百万円（前年同期は71百万円の損失）となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、公会計事業として地方公共団体に対する統一的な基準による財務書類作成のコンサルティング業務に加え、財務分析レポート作成や公営企業会計導入、経営戦略策定等の受託業務について、大規模自治体を軸に営業活動を推進しました。

また地方創生事業として市場拡大が見込まれるPPP/PFI手法の導入検討等の受託業務を推進しました。

公共コンサルティング事業の売上高は、62百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント損失は2百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、㈱ムーミン物語のムーミンバレーパークと㈱ライツ・アンド・ブランドのムーミンのライセンス事業を両輪として、ムーミンのブランディングを通じた国内市場拡大によるライセンス収入の拡大を基本戦略として事業を推進しております。

ムーミンバレーパークを含むメッツァでは、万全の感染拡大防止策をとったうえで、秋のイベントとして「ムーミンバレーパーク ハーベスト」（2020年9月12日～2020年11月8日）を開催し、冬のイベントとしては「ウインターワンダーランド」（2020年11月21日～2021年3月7日）を開催して、夜間に体験型アトラクションとして「アドベンチャーウォーク」を展開するなど、各種イベント等により集客に努めました。この結果、来園者数は前期の第4四半期比で37.2%増の24万人となりましたが、コロナ禍の影響がなかった前第1四半期比では21.0%減の水準であり、依然として厳しい状況が続きました。この結果、メッツァ関連の売上高は前年同期比33.1%減の850百万円となりました。

ライセンス事業については、前期に緊急事態宣言により多くのイベントが中止に追い込まれ、ライセンシーの主要販路である大型商業施設等が2020年4月、5月に休業となったことで成長が一時的に鈍化しましたが、その後経済活動の再開とともに徐々に回復してきております。ムーミンのブランディングのため、2019年4月から原画展「ムーミン展THE ART AND THE STORY」の全国巡回に協力しておりますが、当第1四半期においては札幌、熊本で、2021年1月からは静岡で開催されております。このほか、コロナ禍によりイベント活動が制限される中でも、ライセンシーと協力して様々な企画を打ち出すなど活発に活動したことによって、ライセンス事業の売上高は前年同期比0.8%減の373百万円となり、コロナ禍前と同じ水準まで回復しました。

以上の結果、エンタテインメント・サービス事業の売上高は、1,223百万円（前年同期比25.7%減）となりました。セグメント損益は、メッツァが来園者数の回復や費用削減を推進したことにより営業利益段階で収支均衡する水準となったことや、ライセンス事業が好調に推移したことにより、47百万円（前年同期は18百万円の損失）のセグメント利益となり黒字を確保しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より1.1%増加し、16,759百万円となりました。これは主として、ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却等により有形固定資産が138百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が364百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より3.0%増加し、9,560百万円となりました。これは主として、短期借入金が42百万円、1年内返済予定の長期借入金が67百万円、賞与引当金が55百万円、固定負債のリース債務が56百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が184百万円、長期借入金が78百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より1.4%減少し、7,199百万円となりました。これは主として、非支配株主持分が44百万円増加したものの、資本剰余金が21百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失及び関連会社であった㈱アダコテックの持分法適用除外により利益剰余金が130百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 |
|--------------|-------|-------|--------|---------------------|
| 2021年9月期（予想） | 9,000 | 540 | 370 | 250 |
| 2020年9月期（実績） | 6,841 | △992 | △1,135 | △1,186 |
| 増減率 | 31.6% | — | — | — |
| 増減額 | 2,158 | 1,532 | 1,505 | 1,436 |

2021年9月期の連結業績予想は上記の通りであり、2020年11月10日付の2020年9月期決算短信で公表した連結業績予想に変更はありません。

投資銀行事業は、プライベートエクイティ投資などにおいて今後も順調に案件組成が進み、企業投資、アセット投資の回収も見込めることから、業績は大きく進捗すると考えております。メツァは、2021年1月の緊急事態宣言の発出により来園者数が大幅に減少していることから、当面は苦戦を強いられますが、好調な投資銀行事業がメツァの減少分をカバーできるため、連結業績予想の修正は必要ないと判断しております。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,162,069 | 2,185,778 |
| 受取手形及び売掛金 | 564,724 | 929,342 |
| 営業投資有価証券 | 1,128,045 | 1,122,760 |
| 営業貸付金 | 514,798 | 477,098 |
| 販売用不動産 | 3,999,865 | 3,999,865 |
| 商品 | 257,591 | 233,412 |
| その他 | 272,878 | 378,914 |
| 貸倒引当金 | △96,718 | △117,309 |
| 流動資産合計 | 8,803,255 | 9,209,862 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,372,766 | 5,378,730 |
| 減価償却累計額 | △327,629 | △376,436 |
| 建物及び構築物（純額） | 5,045,136 | 5,002,293 |
| その他 | 1,660,769 | 1,565,300 |
| 有形固定資産合計 | 6,705,906 | 6,567,594 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 137,969 | 136,634 |
| その他 | 462,787 | 474,086 |
| 無形固定資産合計 | 600,756 | 610,720 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 145,711 | 59,410 |
| 長期貸付金 | 41,668 | 39,585 |
| 繰延税金資産 | 9,033 | 3,434 |
| その他 | 277,438 | 269,060 |
| 貸倒引当金 | △220 | △83 |
| 投資その他の資産合計 | 473,630 | 371,407 |
| 固定資産合計 | 7,780,293 | 7,549,722 |
| 資産合計 | 16,583,548 | 16,759,584 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 109,597 | 294,162 |
| 短期借入金 | 69,701 | 26,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 615,111 | 547,517 |
| 未払法人税等 | 97,250 | 117,047 |
| リース債務 | 222,578 | 224,502 |
| 賞与引当金 | 130,666 | 74,669 |
| その他 | 1,088,523 | 1,314,595 |
| 流動負債合計 | 2,333,428 | 2,599,294 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,125,744 | 6,204,710 |
| リース債務 | 581,872 | 525,019 |
| 繰延税金負債 | 96,324 | 84,664 |
| 退職給付に係る負債 | 108,259 | 112,799 |
| その他 | 33,536 | 33,536 |
| 固定負債合計 | 6,945,738 | 6,960,731 |
| 負債合計 | 9,279,166 | 9,560,025 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,462,062 | 6,462,099 |
| 資本剰余金 | 5,016,132 | 4,994,549 |
| 利益剰余金 | △5,183,778 | △5,313,894 |
| 株主資本合計 | 6,294,416 | 6,142,754 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,380 | △4,339 |
| 為替換算調整勘定 | △32,833 | △26,165 |
| その他の包括利益累計額合計 | △36,213 | △30,504 |
| 新株予約権 | 64,045 | 60,981 |
| 非支配株主持分 | 982,133 | 1,026,327 |
| 純資産合計 | 7,304,381 | 7,199,558 |
| 負債純資産合計 | 16,583,548 | 16,759,584 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,209,465 | 2,020,237 |
| 売上原価 | 1,512,927 | 1,194,342 |
| 売上総利益 | 696,537 | 825,894 |
| 販売費及び一般管理費 | 955,454 | 772,773 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △258,917 | 53,120 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 268 | 264 |
| 受取配当金 | — | 655 |
| 為替差益 | 4,500 | — |
| 助成金収入 | — | 650 |
| 投資有価証券売却益 | — | 1,551 |
| その他 | — | 27 |
| 営業外収益合計 | 4,768 | 3,148 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,071 | 32,809 |
| 持分法による投資損失 | 7,935 | 3,232 |
| 為替差損 | — | 9,796 |
| その他 | 1,862 | 1,212 |
| 営業外費用合計 | 42,869 | 47,051 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △297,017 | 9,218 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 4,486 | 3,031 |
| 特別利益合計 | 4,486 | 3,031 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 801 |
| 出資金評価損 | 2,140 | — |
| 関係会社株式評価損 | — | 320 |
| 特別損失合計 | 2,140 | 1,122 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △294,671 | 11,128 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,304 | 27,776 |
| 法人税等調整額 | △16,603 | △5,895 |
| 法人税等合計 | 2,701 | 21,880 |
| 四半期純損失(△) | △297,372 | △10,752 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △12,488 | 52,269 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △284,884 | △63,021 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △297,372 | △10,752 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △290 | △959 |
| 為替換算調整勘定 | △16,185 | 11,878 |
| その他の包括利益合計 | △16,476 | 10,919 |
| 四半期包括利益 | △313,849 | 166 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △296,213 | △57,312 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △17,635 | 57,479 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する前提について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------------------|------------|------------------|--------------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 投資銀行 事業 | 公共コンサル ティング事業 | エンタテイン メント・サー ビス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 500,998 | 61,240 | 1,647,225 | 2,209,465 | — | 2,209,465 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 3 | 54,073 | 3,000 | 200 | 57,274 | △57,274 | — |
| 計 | 555,072 | 64,240 | 1,647,426 | 2,266,739 | △57,274 | 2,209,465 |
| セグメント損失(△) | △71,498 | △7,452 | △18,521 | △97,472 | △161,444 | △258,917 |

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△161,444千円には、セグメント間取引消去62,657千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△224,101千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

3 「投資銀行事業」におけるセグメント間の内部売上高又は振替高には、「投資銀行事業」に属する当社が「エンタテインメント・サービス事業」に属する連結子会社である㈱ムーミン物語に賃貸するメッツァビレッジの賃料収入43,973千円が含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------|------------------|--------------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 投資銀行 事業 | 公共コンサル ティング事業 | エンタテイン メント・サー ビス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 762,118 | 59,280 | 1,198,837 | 2,020,237 | — | 2,020,237 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 50,445 | 3,000 | 24,599 | 78,045 | △78,045 | — |
| 計 | 812,563 | 62,280 | 1,223,437 | 2,098,282 | △78,045 | 2,020,237 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 142,292 | △2,675 | 47,964 | 187,582 | △134,461 | 53,120 |

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△134,461千円には、セグメント間取引消去55,842千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△190,303千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。